

単元名：

「熟語の成り立ち」

(全2時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年6月30日(水) 第2校時

授業学級 6年2組

授業会場 6年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

単語を様々な視点から仲間分けすることを経験した子ども達が、熟語の成り立ちに気付こうとする場面で、熟語をジャムボード上で様々な視点から仲間分けすることを通して、熟語を成り立ちに基づいて分類分けできることに気付き、熟語の成り立ちに興味を持つことができるようになる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 単語を仲間分けしてみよう	「どうゆうこと？」 「これ並び替えるの？」 「順番は関係ある？」 いろんな順番に付箋を並べる 友達と見せあったりする	ジャムボードでいろんな単語を仲間分けすることを伝える※様々な言葉が書いてあるジャムボードを今後共有する まず、ジャムボードの ファイルI を共有 どんな方法でも考えられるようにアイデアを促す	10
	【学習問題】熟語を仲間分けすることでその成り立ちに気付く			
	2. みんなでどんな仲間分けしたのか発表する	「私は平仮名とカタカナと漢字で分けてみました」 「僕は文字数で分けてみた」 「読み方で考えてみた」	みんなでどんな観点で仲間分けしたのか共有する 漢字だけだとか問題提起 熟語の定義の確認	7
	【学習課題】熟語を仲間分けしてみよう			
展開	3. 熟語を仲間分けしてみる	「漢字の意味で分けられるかな」 「えー、わかんない」 「漢字の意味とか？」 「簡単な漢字と難しい漢字」 「僕がかける漢字とそうでない漢字」	ジャムボードの ファイルII を共有 漢字だけのものは仲間分けできるのか 漢字の意味に注目が行くような発問 字の一つ一つの意味を辞書で考えることも促す	14
	4. みんなで意見を共有する	「漢字同士の意味の関係で分けてみました」 「文章にできる漢字の組み合わせ」 「似た意味の組み合わせ」 「漢字の説明になってる」	みんなの意見をジャムボードで示しながら発表し、意見は黒板に どんなところに注目したのかを問いかけながら明らかにしていく	7
	5. 熟語の成り立ちについて	うなづいたり、「そうなんだ」 「熟語も分けられるんだ」	みんなが見つめてくれた分類の中で「成り立ち」のものがあることを示す	4
終末	6. まとめ	いろんな分け方があったことが分かった これからは漢字練習の時に熟語の成り立ちに注目してみたい	今日分かったことをなんでもいいから まとめてほしい 時間があればまとめてほしい	3

【本時の評価(評価する対象)】

熟語の成り立ちについて興味をもつことができる
(国語の振り返りノート)